

指定管理者の管理運営に対する評価シート（年度評価）

所管部課	市民経済部 地域づくり推進課
評価対象期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

I 指定管理の概要

施設概要	名 称	龍ヶ崎市市民活動センター
	所在地	龍ヶ崎市馴馬町 2445 番地
	関係条例等	龍ヶ崎市市民活動センターの設置及び管理に関する条例 龍ヶ崎市市民活動センターの設置及び管理に関する条例施行規則
	設置目的	市民が行う社会貢献活動の発展に寄与することを目的とする。
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制
指定管理者	名 称	特定非営利活動法人茨城県南生活者ネット 代表理事 若松紀子
	所在地	龍ヶ崎市川崎町 5 番地
	事業内容	(1) 高齢者の健康維持支援活動 (2) 各種生涯学習活動 (3) 龍ヶ崎コミュニケーションハウスの運営 (4) 各種スポーツ活動の支援 (5) 環境美化活動の支援 (6) インターネット映像通信 (7) 新技術開発及び知的所有権に関する活動の支援 (8) 有償ボランティア活動 (9) 起業家に対する支援 ほか
指定管理業務の内容		(1) 市民活動推進に関する業務 ① 市民活動に関する情報の収集、提供、相談に関すること。 ② 市民と市民活動及び市民活動団体のコーディネートに関すること。 ③ 市民活動に関する研修会、講演会、講座等の実施に関すること。 ④ 市民活動に関する啓発・交流促進に関すること。 (2) 施設の運営に関する業務 ① 施設・設備の貸出しに関すること。 ② 利用者サービスの提供に関すること。 ③ 広報・宣伝に関すること。 (3) 施設の管理に関する業務 ① 建築物及び設備の保守管理に関すること。 ② 環境維持管理に関すること。 ③ 施設の維持管理に関すること。 ④ 物品管理に関すること。 ⑤ 危機管理に関すること。 (4) その他の業務 ① 事業計画書の提出 ② 業務報告書（月報）の提出 ③ 利用者アンケート調査の実施 ④ 事業報告書及び収支決算書の提出 など

指 定 期 間	令和 7 年度～令和 11 年度（5 年間）				
総合評価（年度評価）	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
	B				

龍ヶ崎市指定管理者選定委員会からの前年度指摘等事項への対応

Ⅰ 来館者の目標値（要求水準）については、25,000 人以上と高い水準に設定しているため、各コミュニティセンターにおいても同種のサービス等を提供していることを考慮し、適正な目標値の設定を検討し、引き続き市民活動の促進や活性化の支援に努めていただきたい。

⇒ 指摘事項を受け、令和 7 年度事業計画書において、管理運営目標値を年間来館者 16,000 人・登録団体数 160 団体・施設や事業の市民満足度 3.9 に設定した。

令和 6 年度から年間来館者数を最終目標値 25,000 人に設定していたが、今回の指摘等事項を受け、改めてコミュニティセンター利用者数を参考として（令和 6 年度実績年間 14 施設で 134,908 人、平均 9,636 人）少し高めの目標値として設定。登録団体数や増加数については市民活動支援センターの前年度の実績数から推定し設定した。

令和 7 年度の利用者数は 14,686 人であり、目標値には届かなかったものの、前年度の数値 14,028 人と比べて 658 人、割合としては 4.7%の増加であった。

登録団体数は 151 団体であり目標値に届かなかった。年間で 10 団体増加したが、隔年で実施している実態確認調査の結果登録抹消が 16 団体あったため全体で 6 団体の減少となった。

市民満足度は 3.8 であり、目標値にわずかに届かなかった。利用者アンケートを指標にして算出したものであるが、設問のうち「施設全体の満足度について」の回答では「大変満足」「やや満足」「普通」が 100%を占めており、概ね良好との評価に値すると考える。

2 評価結果

評価基準及び評価のポイント	配点	評価 RANK	得点
Ⅰ 【有効性】施設の設置目的の達成に関する取組み など	50	-----	36
（Ⅰ）施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	A (R6:A)	24 (R6:24)
① 事業計画書等で示す各種事業やイベントは適切に行われたか。また、当該年度の管理運営目標を達成できたか。			
② 施設の利用者数の増加や利便性を高めるための取組みがなされたか。			
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られたか。			
④ 施設及び備品は適切に維持管理がなされたか。			
⑤ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動がなされたか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 令和7年度の管理運営目標値として、年間来館者数16,000人に対して14,686人で、目標値を下回った。しかしながら、前年度14,028人と比較して658人、4.7%増加している状況である。登録団体数の管理運営目標値として、160団体に対して151団体となり、目標値を9団体下回った。なお、前年度との比較では6団体の減少となった。このことについては、調査時に団体活動の廃止が確認され整理したものであるため、この部分に関しては指定管理者のみでは改善が困難な要因と考えられる。前年度は新規登録団体が5団体であることと比較し、10団体増加したことは市民活動の促進や活性化に努めたものであると評価できる。

令和7年度は計画した事業は全て実施することができたほか、今年度より、社会教育士・植竹智央氏を企画・運営アドバイザーとして迎えて、龍ヶ崎みらい会議の企画・立案・運営に携わっていただいた。若者が考えるまちづくりを実践している多様な分野の方々に登壇してもらうなど成果を上げている。特に、シニア対象のスマホ講座は、市内の高校生スマホサポーターに参加していただき、多世代交流の場として好評である。

- ② 活動センター利用者の要望に応えるため、音響設備として新しい高音質の拡声器を1台購入し、良好な音響環境の整備に努めた。また、ポータブル電源を1台購入し、市民活動フェアの体験コーナーで使用する以外に貸出し備品に加えて有効活用を図っているのは利用者の利便性を高める取組として評価できる。

廊下や階段の踊り場などの展示場所を提供し、利用団体が自らレイアウト等を工夫しながら飾り付けをしていただいている。また、空きスペースに無料コーナーを設置し、まだ、使える物品を来館者に差し上げる場として資源の有効活用を図ったところ、新品同様の食器や玩具、書籍、衣類などが並べられ、大変好評である。

市民活動センターのホームページはスマートフォンでもアクセスしやすい画面構成になっていて、貸室の空き状況や講座・イベント情報などへのアクセスが容易になっており、予約時の利便性の向上や利用の増加につながっている。

- ③ 複数の施設を一括管理していない。
- ④ 施設の維持管理は、日常・月次・年次点検を計画的に実施しており、また、備品管理に関しても、備品台帳及び貸出簿により概ね適切に管理されている。
- ⑤ 利用団体の活動紹介やイベントの案内を掲載した広報紙「ひびき」を毎月1日発行している。また、ホームページやYouTubeを活用した広報活動を行っている。Facebookでは「りゅうがさき市民活動・応援し隊」のグループを作成し活動を応援している。その他、若者向けの情報発信として令和6年度からX及びInstagramを活用して広報活動の強化を図っている。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られているか。	20	B (R6:A)	12 (R6:16)
② 利用者の意見を把握し、それを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他利用者満足度を向上させるための具体的な取組みがなされたか。			

- ① 来館者にアンケート用紙を手渡し、回収箱に投函してもらう方法でアンケートを実施した。
- ・アンケート回収人数 : 301名（前年度247名）
 - ・調査期間 : 令和8年1月16日～2月20日
- なお、施設全体の利用満足度について「大変満足」と「やや満足」を合わせて75%、職員・スタッフの対応についても「大変満足」と「やや満足」を合わせて81%と利用者から高い評価をいただいていることが確認できた。概ね良好との評価に値すると考える。
- ② アンケート調査及び市民活動団体交流会を開催し、利用者からの声や要望を把握し、その内容をスタッフミーティングの中で共有している。スタッフミーティングで活発な意見交換を実施し、全員の運営上の課題への対応を共有することができ、事業の進捗管理が円滑に行われているとともに新たな運営改善事項の提案も行われている。検討した結果等を議事要録として回覧し情報の共有化に努めている。
- ③ 利用者からの苦情等に対しては、適切に対処する体制（管理職の常時勤務等）を整えており、その後も内部で話し合いを行い、再発防止に努めている。
- ④ 広報誌「ひびき」の掲載記事については、『市民団体の活動紹介』シリーズを継続し、毎月センター職員が交代で登録団体取材し、情報提供の充実を図っている。
- Facebook グループページ「りゅうがさき市民活動・応援し隊」を継続し、市民活動センターの活動を応援している。（グループメンバー428人）
- 公式Instagram、X（旧Twitter）を開始し、若者向けに活動センター情報を発信している。
- 館内のチラシ等は、掲示期間の管理を徹底した上で、常に新しい情報提供を行っている。また、利用者の視点に立ち、掲示物のレイアウト等掲出方法を工夫するなど、見やすさや分かりやすさに努めている。
- ⑤ リユース品の無料コーナーを設置し、資源の有効活用を図っている。そのほか、市民活動団体の創作品（季節の花の寄せ植え鉢）を定期的に発注したり、物販品の展示場所を提供する館内マーケットを常設し、活動センターが代理販売することで活動団体の経済的な支援や活動の広報に努めている。

評価基準及び評価のポイント		配点	評価 RANK	得点
2 【効率性】 効率性の向上等に関する取組み		20	-----	12
(1) 指定管理業務に係る経費の低減 など		20	B (R6:B)	12 (R6:12)
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減させるための取組みがなされたか。				
② 収支計画に沿った予算の適切な執行がなされたか。				
③ 清掃や警備、設備の保守点検等の業務は適切な水準で行われたか。 また、再委託している場合は 経費が最小限となるよう工夫がなされたか。				
【評価の理由、要因・原因分析】				
① 広報紙「ひびき」については安価なネット印刷を利用しており、また、事業の講座講師を市民活動団体に依頼し、軽微な修繕等に関しては活動センター職員が行うなど工夫しながら経費削減に取り組んでいる。 令和6年3月に撤去された飲み物の自販機の再設置に向けて検討し、自販機設置事業者と協議を重ねたが、飲料の販売個数が採算ベースにならないことが判明したため、自主事業として、市民活動センター事務室にてペットボトルの日本茶の販売を実施することになり、令和7年5月より100円にて販売している。 夏は冷蔵庫で冷やして準備をしており、大変好評である。				
② 収支計画に沿った予算の適切な執行がなされている。				
③ 各設備の保守点検及び清掃等を業者に委託し、定期的な点検及び清掃を実施した。また、必要に応じて修繕を行い、機器及び設備等が常に良好で安全な状態を維持できるよう努めた。 施設の清掃は、日常清掃を週3回、定期清掃を年2回業者委託し実施しているほか、それ以外の日も活動センター職員が清掃作業を行っている。また、除草作業についても委託業者及び職員がこまめに行い、玄関や廊下、トイレなどの環境美化の面も十分配慮されている。なお、この成果として利用者アンケート調査				

の設問「施設の清潔さについて」に「大変満足」「やや満足」を合わせて76%と高い評価をいただいている。また、その他、設備の保守点検等に関しても、各専門業者に委託し、法定点検（消防設備、電気工作物、受水槽・高架水槽）をはじめ適切に行われている。

評価基準及び評価のポイント	配点	評価 RANK	得点
3【適正性】公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	30	-----	18
(1) 施設の管理運営の実施状況 など	15	B (R6:B)	9 (R6:9)
① 施設の管理運営に当たる人員は適切に配置され、また適切な雇用・労働環境のための取組みがなされたか。			
② 職員の資質・能力向上のための取組みがなされたか。			
③ 地元貢献（地域経済活性化や地域との連携など）のための取組みがなされたか。			
【評価の理由、要因・原因分析】			
① センター長1人、副センター長2人及びその他5人の職員で勤務ローテーションを組み、緊急時の対応に備えるとともに、適切な管理運営体制の維持に努めている。また、業務内容に応じた柔軟な勤務体制を編成するとともに、通勤形態や個人の希望に十分配慮したシフト管理・人員計画を行うなど、適切な雇用・労働環境の確保にも取り組んでいる。			
② 定期的にスタッフミーティングを行い、事業の進捗管理が円滑に行われている。また、報告事項や検討した結果を回覧することにより情報の共有化に努めている。また、幅広い分野で市民活動を行っている方々で構成する「円卓会議」定期的に開催し、積極的に街の活性化に結びつけるための具体策を検討するなど、職員の資質・能力向上につなげている。			
・参加会員：NPO法人代表者、市民活動団体代表者、市議会議員、関東鉄道鉄道部業務課長 地域づくり推進課長、元市議会議員			
常磐線沿線地区市民活動センター等交流会における情報交流活動として、柏市、松戸市、守谷市、流山市、阿見町、龍ヶ崎市につくば市の7市町の市民活動センターで活発な情報交流が行い、事業の参考として取り入れている。			
③ 市民活動への参加のきっかけづくりや市民活動団体相互や高校生との交流を目的として、令和8年2月21日、22日にサプラスクエアにて、市民活動フェアを開催した。団体によるパネル展示や、団体・市内高等学校によるステージ発表があり、約2,500人の参加があった。また、市民活動を行う活動団体とそれを手助けする事業所や中学校との間を橋渡しする「まちづくり・つなぐネット」が令和7年度から市民活動センターに移管されたことに伴い、市と連携しながら花いっぱい運動や地域の防犯活動や地域のまつりへの協力を9回実施し、275人の参加をコーディネートし、地元貢献に寄与している。			

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制 など	15	B (R6:B)	9 (R6:9)
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されていたか。			
② 利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
④ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑤ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 情報管理責任者を任命し、セキュリティの維持・管理を推進している。また、施設利用者の個人情報の記載がある「団体登録申請書」をファイル化して管理し、鍵付きのキャビネットに保管している。さらに登録団体の非公開情報についても、区分明記により適切に管理するとともに、ホームページに掲載する際には、その内容をスタッフ複数人にてチェックするなど、徹底した取組みが行われている。
- ② 利用の受付は2ヶ月前から実施され、来館時に先着順で行われている。なお、受付方法の苦情やトラブル等がないことから、公平性が確保された運用であることが伺える。
- ③ 毎日（休館日を除く）午前・午後の2回は必ず館内及び敷地内を巡視しており、危険箇所等を発見した場合は、市に連絡するか自ら対応し、利用者の危険防止・事故防止に努めている。
- ④ 消防計画等を作成し、防火管理者にセンター長及び副センター長を置くほか、スタッフにも防火管理者の資格を取得させる方針とするなど、防火対策等に組織化して対応することで適切な危機管理体制をとっている。
- ⑤ 緊急連絡網による初期対応を図る体制をとっているほか、スタッフ間において、「LINE」アプリを駆動し、迅速な情報共有に取り組んでいる。

評価 RANK	得点率	評価 RANK の内容
S	100%	目標（計画）を大幅に上回り、優れた管理運営がなされている。
A	80%	目標（計画）を上回る管理運営がなされている。
B	60%	目標（計画）どおり適正に管理運営がなされている。
C	40%	目標（計画）を下回る管理運営がなされている。
D	20%	目標（計画）を大幅に下回る管理運営がなされている。
E	0%	不適切な管理運営がなされている。

【総合評価】

合計得点	66 点 (R6:70)	総合評価	B (R6:A)
------	-----------------	------	-------------

[総評]

令和7年度の管理運営目標値の年間来館者数・登録団体数・施設や事業の市民満足度ともに目標値を下回る結果となったが、年間来館者数・新規登録団体数ともに前年度と比較して増加が見られることや、要因のなかには、2年に一度の実態確認調査の適正な実施により団体数が減少となったこともあり、指定管理者のみでは改善が困難な部分がある。利用者アンケートのコメントで職員の親切な対応に感謝の言葉も多くいただいていることから、指定管理業務を適正に実施し、市民活動の促進や活性化に努めていると評価できる。

施設の利用者数の増加への取り組みとして、今年度より社会教育士・植竹智央氏を企画・運営アドバイザーとして迎えて、龍ヶ崎みらい会議の企画・立案・運営に携わっていただいた。若者が考えるまちづくりを実践している多様な分野の方々に登壇してもらうなど成果を上げている。特に、シニア対象のスマホ講座は、市内の高校生スマホサポーターに参加していただき、多世代交流の場として好評である。

また、拡声器を1台購入し良好な音響環境の整備に努めた。また場所の有効活用として、空きスペースに利用団体が使用できる展示場所を設けるほか、無人コーナー（リサイクルコーナー）として、来館者同士が物品を無償で提供できる場を設けるなどの工夫が見られる。

自主事業として、自動販売機の再設置について審議した結果として、令和7年5月から事務室にてペットボトルの日本茶の販売の実施を始め、1本100円にて販売している。夏は冷蔵庫で冷やして準備をしており、利用者から大変好評である。

令和7年度に市から事務移管された「まちづくり・つなぐネット」（市民活動を行う活動団体とそれを手助けする事業所や中学校との間を橋渡しする事業）については、市と連携を取り、花いっぱい運動や地

域の防犯活動や地域のまつりへの協力を9回実施し、275人の参加をコーディネートし、地元貢献に寄与している。

当該団体は、長年にわたり本市の市民活動支援に携わる中で、地域特性や市民活動団体の実情を深く理解するとともに、専門的知見や豊富な経験を蓄積してきた。これらの強みを活かした円滑かつ効果的な施設運営は高く評価でき、市民活動センターの管理運営を担う団体として十分な実績と能力を有している。

[改善を要する事項]

管理運営目標値の年間来館者数・登録団体数・施設や事業の市民満足度を上げるため、引き続き市民活動への伴走型支援を行い、効果的な情報発信、講座・交流事業の充実、相談支援機能の強化等を通じて、市民活動への参加促進と活動の活性化に取り組んでいただきたい。

利用者アンケートのなかに、スマホ講座の継続を望む意見があったように、市民活動の持続的な発展を図るためには、若年層の参画促進が不可欠であることから、若者が市民活動への理解促進及び参加のきっかけづくりとなる講座等の実施をお願いしたい。

総合評価	総合評価の内容	合計得点
S	特に優れていると認められる。	90点以上
A	優れていると認められる。	70点以上 90点未満
B	適正であると認められる。	60点以上 70点未満
D	努力を要すると認められる。	50点以上 60点未満
E	相当の努力を要すると認められる。	50点未満

【龍ヶ崎市指定管理者選定委員会の意見】

令和7年度の年間来館者数は、目標値16,000人に対して14,686人と下回ったものの、前年度から658人、4.7%増加しており、利用促進に向けた取組の成果が認められる。登録団体数は、目標値160団体に対して151団体となったが、これは実態確認調査により活動を廃止した16団体を登録抹消したことが主な要因であり、指定管理者の努力のみでは抗いがたいものと考えられる。

また、利用者アンケートでは、施設全体の満足度やスタッフの対応について高い評価を得ているほか、高校生によるスマートフォンサポートなど、世代間交流につながる取組も評価できる。一方、市民活動センターの所在地や役割が市民に十分知られていないため、市公式LINEを含む多様な広報媒体を活用して施設の認知度を高め、さらなる利用促進と市民活動の活性化に努めていただきたい。

管理運営実績データ

施設名	龍ヶ崎市市民活動センター
事業計画の内容	① 市民活動に関する情報の収集、提供、相談に関する業務 ・ 広報紙「ひびき」の発行 ・ ホームページの運営 ・ 市民活動に関する相談事業 ほか ② 市民と市民活動及び市民活動団体のコーディネート業務 ・ まちづくり・つなぐネット ③ 市民活動に関する研修会、講演会、講座等の実施 ・ NPO 法人設立に関するセミナー ・ 登録団体等との共催による市民向け講座 ・ 市民活動コーディネーター育成講座 ほか ④ 市民活動に関する啓発・交流促進業務 ・ りゅうがさき市民活動フェア ・ 市民活動団体交流会 ・ 公共施設里親団体交流会 ・ 市民活動団体サポート補助金活用相談会

(自主事業)

令和6年3月に撤去された飲み物の自販機の再設置に向けて検討し、自販機設置事業者と協議を重ねたが、飲料の販売個数が採算ベースにならないことが判明したため、市民活動センター事務室にてペットボトルの日本茶の販売を実施。令和7年5月より100円にて販売している。夏は冷蔵庫で冷やしたものを用意し、大変好評である。

市民活動団体の活動の拠点となる場の提供及び市民活動に関する情報の提供など、団体の支援を行う施設として市民サービスの向上に努め、施設の利用促進を図っている。

各種事業・イベント等を積極的に実施し、利用者数の増加及び利便性の向上に努め、施設の管理運営を行っている。

① 市民活動に関する情報の収集、提供、相談に関する業務

実施内容	実施日時・時期	令和7年度実績	令和6年度実績
広報紙「ひびき」の発行	毎月1日	発行枚数 500部	発行枚数 650部
ホームページの運営	随時更新	閲覧数 約30,000回	閲覧数 約30,000回
市民活動に関する相談事業	随時受付	相談件数 18件	相談件数 14件
助成金申請相談	随時受付	相談件数 3件	相談件数 3件
NPO法人設立相談	随時受付	相談件数 0件	相談件数 1件
常磐線沿線地区市民活動センター等交流会 (松戸市・柏市・流山市・守谷市・阿見町・龍ヶ崎市)	R8.2.25(水)	参加人数 17人 (うち市4人)	参加人数 10人 (うち市3人)
周辺活動センター視察研修	R8.1.21(水)	守谷市市民活動支援センターへ市2人 センター4人	調整つかず中止

② 市民と市民活動及び市民活動団体のコーディネート業務

実施内容	実施日時・時期	令和7年度実績	令和6年度実績
まちづくり・つなぐネット	R7.7.5(土) R7.8.2(土) R7.10.25(土) R7.10.25(土) ※同日2か所実施 R7.11.15(土) R7.12.1(月) R7.12.6(土) R7.12.6(土) ※同日2か所実施 R8.2.21(土)	実施回数 9回 参加人数 275人	実施回数 1回 参加人数 12人

③ 市民活動に関する研修会、講習会、講座等の実施

実施内容	実施日時・時期	令和7年度実績	令和6年度実績
啓発に関する講座(市民花壇づくり体験会)	R7.5.18(日)	参加人数 1人	調整つかず中止
シニアボランティア啓発事業(北竜台公園の清掃活動)	R8.3.16(日)	参加人数 1人	参加人数 7人

	初心者のためのボランティア講座	R7.6.22 (日)	参加人数 6 人	参加人数 6 人
	NPO 法人設立に関するセミナー (NPO 法人設立説明会・県との共催)	R8.1.22 (水)	対面参加 1 人 オンライン 11 人 計 12 人	参加人数 5 人 オンライン 8 人 計 13 人
	龍ヶ崎まちづくり講座 (観光とまちづくり『無理しない観光』)	R7.10.5 (日)	対面参加 16 人 オンライン 3 人 計 19 人	
	龍ヶ崎の旧跡講座 (竜鉄応援プロジェクト第一弾 竜鉄に乗ってまちなか史跡めぐり)	R7.4.12 (土)	参加人数 16 人	
	龍ヶ崎の旧跡講座 (竜鉄応援プロジェクト第二弾 竜鉄に乗ってまちなか史跡めぐりその2)	R7.10.25 (土)	参加人数 6 人	
	市民生活の知恵出し講座 (子ども食堂のリアルと私たちが踏み出す『はじめの一歩』を考える)	R7.12.14 (日)	参加人数 11 人	
	SDGs 講座 (SDGs 活動紹介ーあなたの隣の外国人)	R8.3.1 (日)	参加人数 18 人	
	健康づくり講座 (腸内環境の大切さと最新研究にふれるパートⅡ)	R7.4.27 (日)	参加人数 20 人	
	健康づくり講座 (認知症について知ろう! 予防と対策)	R7.11.30 (日)	参加人数 11 人	
	龍ヶ崎の魅力発信講座 (龍ヶ崎の魅力発見: るみちゃん対談: 齊藤桂南 市民活動を通して龍ヶ崎の魅力を語る)	R7.5.25 (日)	参加人数 19 人	
	新企画講座 (龍ヶ崎の道標を訪ねて『古を知る龍ヶ崎道標』出版記念)	R7.8.24 (日)	参加人数 31 人	
	新企画講座 (龍ヶ崎の道標巡りツアー『古を知る龍ヶ崎道標』出版記念)	R7.9.20 (土)	参加人数 31 人	
	新企画講座 (スマホステップアップ講座 (3 回連続))	R7.10.4 (土) R7.10.18 (土) R7.11.1 (土)	参加人数 18 人 13 人 14 人	
	新企画講座 (デジタル写真初心者講座 (5 回連続))	R7.11.8 (土) R7.12.13 (土) R8.1.10 (土) R8.2.14 (土) R8.3.14 (土)	参加人数 11 人 11 人 11 人 10 人 10 人	
	おしゃべりサロン (円卓会議/市民活動日本一を目指す会議)	R7.4.8 (火) R7.5.13 (火) R7.6.10 (火) R7.7.8 (火) R7.8.5 (火) R7.9.9 (火) R10.14 (火) R7.11.11 (火) R7.12.9 (火) R8.1.13 (火) R8.2.10 (火) R8.3.10 (火)	実施回数 12 回 延べ参加人数 72 人	実施回数 12 回 延べ参加人数 88 人
	親子向け講座 (蛇沼公園の清掃作業)	R8.3.15 (日)	参加人数 0 人	

親子向け講座「夏・冬の星空観察交流会」	R7.8.3（日） R7.11.30（日）	実施回数 2回 延べ参加人数 64人	実施回数 2回 延べ参加人数 65人
市民活動団体等の組織力強化セミナー（市民活動団体マネジメント講座 活動を継続するための知恵とは？）	R8.3.15（日）	参加人数 7人	
市民活動団体等の組織力強化セミナー（市民活動支援策の紹介講座：クラウドファンディング経験者と活用検討中の方々との交流会）	R8.3.29（日）	参加人数 5人	
市民活動コーディネーターの育成セミナー（龍ヶ崎みらい会議プレゼンツ：地域アカウントの作り方～インスタ編）	R7.4.20（日）	参加人数 18人	
市民活動コーディネーターの育成セミナー（龍ヶ崎みらい会議プレゼンツ：トークセッション龍澤×寺崎 地域に若者が参画しやすくするためには）	R7.6.15（日）	参加人数 29人	
市民活動コーディネーターの育成セミナー（龍ヶ崎みらい会議プレゼンツ：トークセッション黒沢×植竹『ねえ、あなたなんでそんなに若いのに頑張るの？』30代前半が語る地域活動でのあるある）	R7.9.7（日）	参加人数 17人	
市民活動コーディネーターの育成セミナー（龍ヶ崎みらい会議プレゼンツ：トークセッション長谷川×酒井×植竹 10年後の茨城の非営利市民活動について）	R7.10.12（日）	参加人数 13人	
市民活動コーディネーターの育成セミナー（龍ヶ崎みらい会議プレゼンツ：高校生スマホサポーターによるシニアのためのスマホ講座）	R7.12.7（日）	参加人数 23人	
市民活動コーディネーターの育成セミナー（龍ヶ崎みらい会議プレゼンツ：トークセッション横田×植竹 農業女子が語る地域の農業に若者が参入するには）	R8.1.18（日）	参加人数 23人	
市民活動コーディネーターの育成セミナー（龍ヶ崎みらい会議プレゼンツ：高校生スマホサポーターによるシニアのためのスマホ講座アゲイン）	R8.3.22（日）	参加人数 22人	

④ 市民活動に関する啓発・交流促進業務

実施内容	実施日時・時期	令和7年度実績	令和6年度実績
市民活動フェア（パネル展示、ステージ発表等）	R8.2.21（土） R8.2.22（日）	参加団体 43 団体 参加者約 2,500 人	参加団体 45 団体 参加者約 2,000 人

				(2日間延べ数)	(2日間延べ数)
		市民活動団体交流会	R7.5.18(日)	参加団体 13 団体 参加人数 18 人	参加団体 15 団体 参加人数 22 人
		公共施設里親団体交流会	R7.12.10(水)	参加団体 9 団体 参加者 11 人	参加団体 11 団体 参加者 18 人
		公共施設里親団体交流会 「現地見学会」	R8.3.9(月)	参加団体 3 団体 参加者 3 人	
		市民活動団体サポート補助 金活用相談会	R7.9.27(土)	発表団体 3 団体 参加人数 2 人	
利用状況	■実績				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	来館者数	10,728 (12,720)	13,660	14,077	14,028
	登録団体数	147	153	137	157
	※ 令和3年度の括弧内の数値は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館等を実施しなかった場合の想定年間来館者数(通年換算)。				
	■目標値(令和7年度)				
	年間来館者数: 16,000 人 登録団体数: 160 団体				
	■部屋別稼働状況				
	内容	令和7年度	令和6年度	令和5年度	
	年間開館日数	307 日	306 日	308 日	
	年間開館時間	3,991 時間	3,978 時間	4,004 時間	
	PC教室	24%	25%	23%	
	工作室	6%	5%	5%	
	小会議室	19%	19%	16%	
	多目的室	21%	22%	18%	
	大会議室	23%	25%	23%	
	和室	17%	19%	19%	
	■貸出備品等利用状況				
	内容	令和7年度	令和6年度	令和5年度	
	プロジェクター	80 回	89 回	91 回	
	スクリーン	15 回	16 回	30 回	
	マイク	43 回	55 回	36 回	

利用料（使用料）
収入及び減免の状
況

■機器等年間利用料

※施設の利用料（会議室等）は無料としている

内容	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
印刷機	89,840 円	92,496 円	100,440 円
プリンター	5,590 円	4,000 円	3,710 円
FAX	0 円	20 円	0 円
コピー機	66,990 円	95,960 円	82,220 円
合計	162,420 円	192,476 円	186,370 円

アンケートの
実施状況

別紙参照

事業費内訳

決 算

予 算

収 入

収 入

指定管理料	19,248,000
機器使用料	162,410
参加者負担金	27,400
受取利息	6,010
雑収入	20,500
計	19,464,320

指定管理料	19,248,000
機器使用料	115,000
参加者負担金	0
受取利息	0
雑収入	0
計	19,363,000

支 出

支 出

人件費	8,126,991
職員給料	7,790,590
旅費	299,951
法定福利費	36,450
需用費	3,920,361
消耗品費	1,582,617
光熱水費	1,848,824
修繕料	289,300
自動車保険料	199,620
役務費	396,805
通信運搬費	357,865
手数料	38,940
委託料	2,215,573
機械警備	86,592
施設清掃	976,800
空調機清掃	79,200
電気工作物保守点検	257,400
消防設備保守点検	203,500
貯水槽清掃	55,000
夜間管理業務	238,081
受変電設備清掃	66,000

人件費	9,851,000
職員給料	8,189,000
旅費	350,000
法定福利費	1,312,000
需用費	3,900,000
消耗品費	900,000
光熱水費	2,500,000
修繕料	300,000
自動車保険料	200,000
役務費	520,000
通信運搬費	520,000
手数料	0
委託料	2,029,000
機械警備	90,000
施設清掃	980,000
空調機清掃	80,000
電気工作物保守点検	260,000
消防設備保守点検	210,000
貯水槽清掃	55,000
夜間管理業務	35,000
受変電設備清掃	66,000

		汚水・汚物槽清掃及びポンプ清掃	253,000	汚水・汚物槽清掃及びポンプ清掃	253,000
		使用料及び賃借料	638,349	使用料及び賃借料	771,000
		自動車リース	260,150	自動車リース	285,000
		印刷機リース	221,760	印刷機リース	250,000
		コピー機リース	86,350	コピー機リース	90,000
		コピー機チャージ	70,089	コピー機チャージ	70,000
		プリンターリース料	0	プリンターリース料	76,000
		施設損害賠償責任保険料	46,850	施設損害賠償責任保険料	70,000
		植木剪定除草作業経費	297,000	植木剪定除草作業経費	655,000
		各種事業費	761,237	各種事業費	482,000
		その他経費	879,100	その他経費	1,085,000
		精算金	1,937,426	精算金	0
		計	19,219,692	計	19,363,000
		(収入) 19,464,320 円 - (支出) 19,219,692 円 = 244,628 円			